

お陰様で創業35年、 年間取扱件数8063件

弊社のあゆみ
損害保険代理店として、創業当初は、彦根・多賀・甲良・秦荘・愛知川・五箇荘・八日市・安土地域の官公庁マーケットを中心に、ご契約が広がってきました。特に、1981年に開催されました「びわこ国体」が第一次転換期であり、それ以降は、各地域でのレクレーション行事に関する保険や各官公庁が所有する施設の保険等を中心に取扱保険料を伸ばしてきました。しかし、1996年の保険業法改正により、従来は「護送船団方式」とも言われていた時代から、本格的な自由化の波が訪れます。中でも「**生損保相互参入**」は、弊社にとって第二次転換期であり、現在の弊社を支える大きな柱となっております。

現在日本の人口は、2008年の1億2千8百万人をピークに減少傾向にあります。どの業界でも少子高齢化の問題は避けられない道になっており弊社にとっても今後の大きな課題であり、第三次転換期になることは間違いありません。35年目という一つの節目を迎えられましたことに感謝し、永続的に発展し続けられる企業を目指して、社員一同、誠心誠意努力致します。今後とも末永く宜しくお願い致します。



お陰様で弊社は今年で創業35年目を迎えました。1979年9月に足立進(現会長)が近江商人発祥の地「五箇荘」にて永住を決意し、自宅に事務所を構え、その後、1996年7月に独立事務所を新築し現在に至ります。また、今年の4月より新たに「北村大輔」がメンバーに加わり、年間8063件のご契約をお預かりしております。

総合滋賀情報便

発行所
株式会社 総合滋賀
東近江市五箇荘北町屋町45-5
〒529-1443
電話 0120-74-3300
FAX 0748-48-5500



新メンバー紹介



この度、総合滋賀の一員となりました「北村大輔」です。この業界で6年目を迎えます。私も総合滋賀の社長と同様、父親から仕事を引継ぎました。まだまだ、未熟者ですがお客様に対する熱意は誰にも負けない自信があります。

プロフィール
【氏名】北村 大輔
【生年月日】昭和60年8月8日生れ
28歳 独身
【出身】犬上郡豊郷町沢出身
【趣味】スポーツ観戦・ゴルフ

始めて組織で働く事への不安はありますが、それ以上に大きな夢と希望があります。自分の持ち味は「若さ」と「発想力」だと思っております。一人でも多くのお客様から信頼され、愛される存在を目指します。今後とも宜しくお願い致します。

- 1 面 弊社のあゆみ・ゴルフコンパへのご案内
- 2 面 Safety Driving (Vol. 1)
- 3 面 メンバー日記 (剛・宏明・あゆみ・大輔)
- 4 面 メンバー紹介・会社沿革・FP通信

第24回 TOKOMARINENICHIDO足立杯 ゴルフコンパ開催予告

今回で第24回目となる「東京海上日動足立杯」を8月8日(金)に開催致します。真夏の暑い時期ではございますが、弊社のお客様同士の交流の場として、過去23年間続いてまいりました。お盆前のお忙しい時期ではございますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。詳細につきましては弊社までお問い合わせ下さい。

【開催日】平成26年8月8日(金)
【場所】甲賀カントリークラブ
〒0748-721-1221



【前回優勝者の間雲様】



保険相談 **滋賀.com**



<http://hokensoudan-shiga.com/>

保険相談 東近江市

検索



株式会社 **総合滋賀**



<http://sogoshiga.com/>

総合滋賀

検索

オフィシャルHP

【資料提供】公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター

被害者男性(当時16才)の母

永遠の拓也……16才。

もう帰ってこないのは分かっているのに、今日も帰宅途中の高校生の中に拓也を探している。「腹へった、今日は何」という声をもう一度聞きたい。

平成9年(1997)4月24日、横断歩道下事故に遭い、「この子はだめです」と先生に何度言われても、我が子が死ぬとは思わなかった。意識は必ず戻ると、お守りを手を巻き付け、頭をなで、足をさすり、「苦しいと言ってごらん。お母さんと言ってごらん」と耳元でささやいた。けれども一度も目を開けず、しゃべることもなく、5月8日に逝ってしまった。16才、高校2年生になったばかりだった。

よき仲間にも急まれ、告別式には600人近い人が見送ってくれた。友だちにひつぎを抱いてもらって車に乗った時は、きつと「先に行つて待つてるぞ」とみんなに言ったことだろう。

学校の先生からは「四十九日の間、ずっと机の花が枯れなかった」と言葉をいただいた。皆に励まされ、やっと私は睡眠薬なしで眠れるようになった。

そばにいると心がなごむ、世界で一番の息子だったよ。16年間、美しい思い出をいっぱい、いっぱいくれて、ありがとう。

追伸 拓也が残していった大きな心に、まだまだおいつく事は出来ませんが「一番大切なもの」を母は持ち続けていくよ。もう、これ以上被害者を出さないために!!

Safety Driving

～安全な運行のために～ Vol.1

交通事故はなぜ起きるのでしょいか?原因は多種多様でしょうが、起こるべくして起こつた事故も多く見受けられます。事故で被害に遭われた人はもちろん、事故を起こしてしまつた人も事故によって得ることはなく失うものばかりありません。

そこで、少しでも事故を起こさない、事故に遭わないための事前対策として皆様のお役に立てればと思ひ今号より情報提供をさせていただきます。

最後まで、ご一読いただきませう。宜しくお願い致します。



私ごとですが、先日免許証の更新に行つてきました。30分という短い講習(お陰様で優良講習)の中で、最近の道路交通法改正の話や二ユーアスでも多く見受けられる自転車事故についての内容が主でした。

そこで配布される資料の中に「安全運転BOOK」という小冊子があり、パラパラとみている中で目に留まつた記事がありましたのでシェアさせていただきます。「被害者遺族の手記」という題目で実際に被害に遭われた遺族の方のお手紙です。敢えて、私自身の感想は省略しますが、皆様はこれをどのようにお感じになられるでしょうか?

被害者男性(当時35才)の妻

「お父さん!ほんとにもう、お別れなの?」
 炉に吸い込まれていく棺に向かつて、息子が叫ぶ。
 「いやー!お父さん!お父さん!」
 お父さんで育つた息子は、父親が故なく反にされる現実には、凄まじい声をあげ全身で抵抗した。父親の死が理解できない娘は、玄關のペルに「父ちゃん、おかえり」と駆け出しは、「父ちゃん帰らん」と、つぶやいた。

平成13年(2001)8月23日、東名阪高速道路にて玉突き事故に遭遇。前方不法視の15トン車が、猛スピードで渋滞列に突っ込み、夫は車ごと踏み潰され、即死した。

病氣知らずの丈夫な体で、涙などには縁のない陽気な天真爛漫な夫、何より「子供の成長が楽しみ」と、子供と泥んこになって遊んでくれる子煩悩な父親だった。

元氣と笑顔が取り柄の賑やかな我が家は、トラック運転手の暴挙によって引き裂かれ、私達は悲鳴と慟哭と共に夫を見送った。そして壮絶な悲しみと闘う毎日が始まった。交通死が、「過失」で済まされてしまうほど、人の命も加害者の罪も、決して軽くない。

「DEARお父さん」
 「お父さん」「お母さん」。互いを、そう呼び合うようになってから、どれくらい経つでしょうか。子室に息まされ、記憶にあるのは嬉しかったことや楽しかったことばかり。

貴方と過ごした9年間は、私の人生で一番、幸せな時間でした。出会えた事、共に生きた事、貴方がくれた幸せに、今更ながら感謝しています。何處、生まれ変わつても、来世で貴方を探し、貴方の妻になりたい。今度こそ、もつともつと一緒になりたい。

7才と2才の子を連れて突然、命を絶たれ、どんな思いで独りで逝つたのですか。

そして今、どんな思いで子供達を見ているのですか。きつと、今すぐ生き返つて子供達を抱きしめたいでしょう。

残給すざる歳月を強いられた貴方が、可哀相なりません。貴方の無念に軽いため、子供達が一人前に育つよう、私は精一杯、生き抜くことを誓います。そして貴方が命と引きかえに遺した教訓を、貴方と共に伝えていきたい。再会の時、胸を張つて貴方の前に立つよう。

また、ご存知の方も多いとは思いますが、歌手のさだまさしが歌う中に「償い」という歌があります。「さだまさし 償い」と検索頂ければYouTubeで聞けます)

歌詞の内容は、実話をもとに作詞されており、またある裁判において裁判長が被告に對し「唐突だが、君たちはさだまさしの『償い』という唄を聴いたことがあるだろうかと切り出し、「この歌のせめて歌詞だけでも読めば、なぜ君たちの反省の弁が人の心を打たないか分かるだろう」と説諭を行ったそうです。何回か耳にしましたが、自然と涙が出てしまいます。皆様も一度聞いてみてください。

ちよつとした気の緩みや「だろー運転」等による事故を起こさないためにもハンドルを握る際には、いろいろな危険予測をした「かもしれない運転」を心掛けて頂き、下記の「安全運転5原則」を常に頭に置きながら、事故のない「Safety Driving」を楽しんで下さい!

また、左記サイトに様々な安全運転サイトがありますのでご参考にして下さい。

◆ホンダの安全運転のポイント
www.honda.co.jp/safety/info/drive/

◆JAFの危険予知・事故回避
www.jaf.or.jp/eco-safety/safety/danger/index.htm

◆安全運転情報誌
<http://anzenuuten-karrijindo.com/>

安全運転5原則

- ①安全速度を必ず守る
- ②カーブの手前でスピードを落とす
- ③交差点では必ず安全を確かめる
- ④一時停止で横断歩行者の安全を守る
- ⑤飲酒運転は絶対にしない

総合滋賀メンバー日記

剛の日記

『足立家でUSJ』



私は3人兄弟の末っ子です。ここ最近兄弟家族全員集まる機会が中々なかったのですが、兄の子供の受験が終わったということで姉家族、兄家族、そして両親と私の家族総勢14人でUSJに行ってきました。ワンピースショーが開催されている時期ということもあり、普段より入場者は多かったです。事前に混雑を予想していたので、

ちよつと警沢をして「エクスプレスパス」を事前にWeb購入していたおかげで、各アトラクションには比較的並ばずに済みました。
7月15日には、ハリポッターのアトラクションが新たに登場し、また夏休みも重なり一段と混雑することが予想できますが、一度行かれてみてはいかがでしょう(笑)



宏明の日記

『卒業式』



今年3月、我が家の長女が小学校を卒業しました(^^)入学したのもついでこの間のように思っていたのが、はや6年・・・そう言えば自分がこの仕事に転職させて頂いたのも、長女が入学した時でした。保険に携わって6年も経つのかと、色々な意味で改めて考えさせられました(^^)

中学校で勉強についていけるのかな？部活は頑張ってくれるのかな？など子どもへの心配は尽きませんが、楽しく中学校生活を送ってくれればと願っております。
そして成長していく娘に置いていかれぬよう、私も頑張らねば・・・と思う今日この頃です(笑)



あゆみの日記

『子供の成長』



先日、アルバムの整理をしていた中でふと立ち止まってしまう昔の写真。早いもので3人の子供たちも、全員が小学生になりました。3人の年齢が近いこともあり、外出先では「双子ちゃんか？」とよく言われました。また、口をそろえて「今は大変だけど、一気に楽になるよ！」と。当時は、何をすることも目を離せず「本当にそんな時期来るかな？」と半信半疑でしたが、ようやくその意味が解り始めたような気がします。(まだまだ大変ですが；)

今は、3人揃って水泳を習い、この時期は毎週のように試合があり送り迎えで殆ど時間が過ぎてしまう毎日ですが、今しかできないことに挑戦させ、私の子育ても後悔が無い様に子供と向き合っていきたいと思っております。



大輔の日記

『環境の変化』



4月から総合滋賀でお世話になることとなり、大きく環境が変わりました。組織で仕事をするの大変さ・難しさを感じ、日々悪戦苦闘しております。しかし逆に組織で仕事をするの楽しさ・喜びを感じることも多々あり、とても充実した毎日をご過ごしております。また、プライベートでは学生時代の先輩にお誘い頂いて、J.Cの塾生と

なることになりました。本入会するかはまだわかりませんが、オリエンテーションで出会った、たくさんの同世代の仲間たちに刺激を受け、公私共に益々自分の目標に向かって邁進してまいります。いつも助けて頂いているたくさんの周りの人たちに感謝の気持ちを忘れず、自分自身さらなる成長をしていきたいと思っております。





Sogoshiga

【ロゴマークの説明】
 総合滋賀の「S」と琵琶湖をイメージし、その周りを弊社経営理念である「三方よし」からお客様・社員・地域が手をつなぎ発展していくことを意味しています。また色については「地球環境を守りたい」という願いから、湖・海の青、大地の緑、太陽の赤にしてあります。お客様に何ができるかを常に考え、ロゴマークが意味することを社員一同心に刻み、日々研鑽したいと思っています。



総合滋賀メンバー紹介

専務取締役 松田 宏明
 会長 足立 進
 代表取締役 足立 剛
 近江八幡支店長 北村 大輔
 事務リーダー 渡邊 孝子
 総務・庶務 足立 あゆみ
 営業 宇野 美佳子
 新種事務 柴谷 ゆかり
 自動車事務 南 ひとみ

会社沿革

1978年7月	現会長(足立進)、東京海上火災保険㈱へ研修生として入社
1979年9月	代理店名「足立進」で独立、自宅に事務所を構える。
1986年3月	独自基準保険料1億円を突破
1988年3月	独自基準保険料3億円を突破
1992年1月	ビッグステイタス認定
1992年3月	有限会社アダチ設立
1992年3月	独自基準保険料5億円を突破
1996年7月	2階建て新事務所を建築
1996年9月	東京海上あんしん生命保険取扱
1999年1月	宇野美佐子入社
1999年4月	現社長(足立剛)東京海上火災保険㈱へ研修生として入社
2001年4月	足立剛、有限会社アダチへ入社
2002年6月	株式会社総合滋賀へ社名組織変更
2003年9月	代理店名を「総合滋賀」へ変更
2004年6月	渡辺孝子入社
2005年6月	専業代理店年間表彰3部門入賞
2007年6月	ハワイにて現会長が代表挨拶
2007年6月	超保険特別賞入賞 南ひとみ入社
2008年4月	アメリカンファミリー生命保険会社取扱開始
2009年6月	松田宏明、東京海上日動㈱へ研修生として入社 足立あゆみ入社
2009年9月	代表者交代、現会長足立進から足立剛へ、松田宏明入社
2010年4月	代理店認定
2010年8月	住宅保証機構「まもりすまいの保険」取扱開始
2011年3月	柴谷ゆかり入社
2014年4月	滋賀県共済協同組合取扱開始
	北村大輔入社
	★専業代理店優績表彰受賞歴
	(96・97・98・99・00・01・03・04・05・06・12・13年度)



松田宏明の「FPF通信」

高額療養費制度

日本は「国民皆保険」制度を導入しているため、会社員の方が加入する「健康保険」、公務員の方が加入する「共済組合」、自営業の方が加入する「国民健康保険」、75歳以上の方が加入する「後期高齢者医療保険制度」のいずれかに私達は加入しています。年齢によって自己負担割合が異なりますが、小学校入学後から70歳未満の方の場合、病気やケガで治療を受けた場合は、かかった医療費の3割を負担すればいいことになっているのをご存知のとおりです。



窓口での自己負担が3割であっても、長期の入院などでは医療費が相当高額になる場合もあります。このような場合に役立つのが、「高額療養費制度」です。これは、1カ月の自己負担額が所定の金額を超えた場合、その超えた部分に請求により返還される制度です。ただし、この1カ月の判定は、月の初日から末日までとなっています。2カ月間に跨ってしまった場合は、それぞれ1カ月に判定されますので注意が必要となります。また、「食費」「居住費」、患者の希望によって利用する「差額ベッド代」「先進医療にかかる費用」等は、高額療養費の支給の対象となりません。自己負担の限度額は、年齢や所得に応じて異なります。70歳未満の方の場合は、左記のように3段階にわかれています。

① 上位所得者(月額53万円以上) 15万円 + (医療費 50万円) × 1%
 ② 一般の被保険者 80,100円 + (医療費 267,000円) × 1%
 ③ 低所得者(住民税非課税) 35,400円